

## 新青年部長に聞く！

### ●就任にあたり

長く厳しい冬も終わりを迎え、春の暖かな日差しを肌身に感じる季節となりました。盟友並びに組合員の皆様方におかれましてはご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。

この度、第66回定期総会にて山口前部長の後任として平成28年度の青年部長を務めさせて頂くこととなりました。誠に微力ではありますが役員一同想いをひとつにし、盟友の皆様のご協力のもと精一杯務めさせていただきたいと思っています。

私達青年部といたしましても、日々変化する農業政策、国際情勢を把握し、明日の担い手としてこれからの食を担う農業者となるべく多岐にわたる学習会や研修会、次世代を担う子供達への食育活動を進め、幅広く発信していく中で、消費者との強い信頼関係を築き、農業青年として夢と誇りを持ち、未来の農業の更なる発展のために取り組んで参りますので、今まで同様、組合員の皆様には青年部活動へのご理解をお願い致します。



尾藤 広視さん

### ●青年部長として今年の活動の抱負は

他の農協に比べ少人数の青年部ではありますが、より部員同士の絆を深めていきたいとします。農業を通じて地域農業の振興と魅力ある青年部活動を目指していきたいです。

私達青年部として何が出来るのか皆で話し合い、昨年の反省点等を踏まえながら、年間を通して意味のある事業を展開していきたいとします。

### ●若い部員に対し先輩としての期待や要望は

青年部は仲間を作り交流を深め、情報を交換出来る良い場です。同じ職種ということで仲間でありライバルでもあります。お互い個々を高め合い、新しい出会いが良い刺激になると思います。青年部活動も1年を通してあるので、積極的に参加してもらって経験値を上げて行ってほしいです。

また、怪我の無いよう十分注意して作業を進められることをお願いします。

### ●広視さんのモットーは

僕のモットーは「やるなら楽しく、恐れずに」です。

新しい事に挑戦する時でも失敗を恐れず、日々楽しく農業に携わっています。酪農という仕事柄、体調管理は特に気を付けなければなりません。その中で自分の出来る事を楽しみながら見つけています。

●これからの農業について

改正農協法の成立やT P P交渉の大筋合意といった政策面での大きな変革は、生涯現場における不安と混乱が拡大している状況にあります。

その中で私達青年部員ができる事を一つずつ見つけて頑張っていきたいと思います。

## J A 札内青年部 第 66 回定期総会

第 66 回定期総会が 2 月 24 日に盟友 17 名出席のもと、J A 会議室で開かれました。総会の開会にあたり、出席者全員で「農協青年部綱領」の朗唱を行った後、青年部長の開会挨拶、高橋代表理事組合長、幕別町長、十勝地区農協青年部協議会副会長からそれぞれ祝辞を頂き、議事に移りました。

平成 27 年度事業報告並びに収支決算報告、平成 28 年度事業計画並びに収支予算について等の議案第 1 号から第 5 号が審議され、原案通り承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選では、新執行体制が決定されました。

総会終了後は、来賓の方々と青年部員による懇親会が開催され、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。



## J A 札内さくらんぼの会 ふれあい会

J A 札内さくらんぼの会のふれあい会が 2 月 24 日に幕別温泉パークホテル悠湯館で開催され、組合員家庭の 80 歳以上の高齢者 35 名を招いて健康体操やゲーム、百人一首を通して交流を深めました。

さくらんぼの会会長、高橋専務の挨拶に続いて午前中は高齢者向けの体操・ゲームなどで楽しみ、午後からは参加者全員で昼食をとった後、百人一首を通して楽しいひと時を過ごす事が出来ました。



## 年金無料相談会

2月25日に札幌農協2階会議室にて、年金相談会が開催されました。

毎年2月に当農協で行われている相談会では、専門講師の方をお呼びして、これから年金をお受取りになる方の疑問や相談にお答えして頂いています。1組30分程度の時間で個別に話が聞ける良い機会ということもあり、毎年定員数の方が参加されています。



今年は8名の方が参加し、「請求書の書き方は?」「いつから年金はもらえるの?」「手続きの詳しい方法は?」といった自身の持つ年金に関する疑問を講師の方と共に解決していました。

## J A 札幌女性部 第64回定期総会

札幌農協女性部の第64回定期総会が2月26日に開催され、平成27年度の事業収支決算報告を承認するとともに、新年度の事業計画を協議しました。

総会には部員の他、銀鈴会、友の会などの下部組織の代表や来賓など27名が出席しました。28年度事業計画では、下部組織合同の交流や管外視察研修、1日バス研修、生涯学習、つどいの会の実施などの基本計画を決定、部員拡大のため各地区で積極的な勧誘活動を進める点が確認されました。



## コンテナ殺菌施設・車両洗淨施設完成！

ジャガイモシストセンチュウ発生・まん延防止策として、かねてから導入計画していたコンテナ殺菌施設・車両洗淨施設が、平成27年度北海道地域づくり総合交付金農業振興施設整備事業による補助を受け、3月末に完成しました。

コンテナ殺菌施設は、馬鈴薯収穫貯蔵に使用しているコンテナに万が一ジャガイモシストセンチュウが付着した場合、75℃の温水に3分間浸し殺菌する仕組みとなっています。当組合で使用するコンテナを毎年殺菌処理致します。殺菌施設は、馬鈴薯倉庫、野菜選果場の2ヶ所に設置しており、殺菌槽は移動式となっており、両施設で殺菌作業を行います。

車両洗淨施設は、畑から施設に搬入するトラックのタイヤ・車体に付着した土砂と一緒にジャガイモシストセンチュウが紛れ込んだ場合、施設に持ち込まないように、施設に入る時に運搬車両のタイヤ・車体下部を高圧水で洗淨する施設です。車両は徐行して施設を通過して頂きます。洗淨施設も馬鈴薯倉庫、野菜選果場の2ヶ所に設置致しました。

今後、組合員のご理解、ご協力のもと設備を有効活用してまいりますので、よろしくお願い致します。



## 春堀りごぼう 選果始まる！



今年も4月上旬に春堀りごぼうの収穫作業が行われました。

ごぼうは耐寒性の強いことが特徴で越冬野菜の1つとして知られています。

寒さに耐えることで、糖度が増し、秋に収穫するごぼうより甘く、みずみずしく成長します。また、香りも強く、身が柔らかくなり、アクが少ない点も特徴の1つです。

春堀りごぼうは札幌地区全体で約160aの作付面積があります。主に関西市場を中心に、中国・四国地方、一部は道内にも出荷されます。

市況については、平年より高単価で推移しており、特に太物は少ない状況になっている為、需要が高まっています。また、青森県産の入荷量がピークを迎えれば、市況も平年単価で推移すると予想されています。

4月に入り気温も徐々に上がる中、天候にも恵まれて、春堀りごぼうの収穫のピークは札幌地区では4月中旬（3週～4週目）となりました。